

令和4年12月

志登茂

(野村元三重大学長筆)

第57号



本部管理棟(改修後)

志登茂会発行

===== 目 次 =====

特別寄稿	イノベーション・commonsの実現に向けて (三重大学施設部長 向井和人)	1～2頁
-------------	---	------

特別寄稿	大学病院近況 (三重大学医学・病院管理部長 伊藤敦士)	3～4頁
-------------	--------------------------------------	------

	志登茂会会長の8年目 (志登茂会会長 寺西 清)	5頁
--	--------------------------------	----

	近況報告 (井澤克弘)	6頁
--	-------------------	----

	近況報告 (草川雅彦)	7頁
--	-------------------	----

	近況報告 (草川弥生)	8～9頁
--	-------------------	------

	フルムーン東日本紀行 (中西治幸)	10～11頁
--	-------------------------	--------

	志登茂会会員皆さんの気ままな思い等	12～22頁
--	-------------------------	--------

	令和4年度総会報告	23～30頁
	(経過報告、決算予算、役員改選、志登茂会会則、写真)	

	事務連絡・編集後記	31頁
--	-----------------	-----



イノベーション・コモنزの実現に向けて

三重大学施設部長
向井和人

志登茂会の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年4月より三重大学でお世話になっております施設部長の向井です。諸先輩方には大変ご無沙汰しております。11年ぶりに三重大学に戻らせていただきましたので私事で恐縮ですが、これまでの経歴について簡単に紹介させていただきます。

私は、昭和58年4月に三重大学工学部に採用され、昭和62年5月に施設部に配置換となり、数々の施設整備に携わらせていただきました。主なものとしては、生物資源学部校舎講堂、工学部校舎(4号館の増築, 6号館, 7号館)そして附属病院I期(病棟・診療棟)の整備となります。その後、平成23年4月に神戸大学に転出となり、浜松医科大学、名古屋大学、金沢大学を経て、この度、三重大学で勤務させていただくことになりました。数年ぶりに見る三重大学のキャンパスは、附属病院の整備が完了し、老朽化した建物もリニューアルされ、教育学部から人文学部までの構内道路が「みどりのモール」として再生されており、キャンパス全体が綺麗に整備されたなど感じました。それでは、最初に私のこれまでの赴任地でのことについて、ふれさせていただきたいと思います。仕事のことについては、三重大学で諸先輩方にご指導いただき経験したことで、ほとんどの業務を進めることができましたので省かせていただきます。

転出後、最初の赴任地である神戸大学の時は、休日に市内を散策して過ごしていました。北野(異人館)からメリケンパーク、居留地、元町界隈で、洋食屋さんやパン屋さん、そして中華料理店を見つけては食べ歩きをしていました。それぞれのお店はいたるところにあり、お値打ちで美味しい店が多く、充実した日々を過ごしていました。神戸市は、国際観光都市であり年間を通して沢山の外国人が訪れており、オシャレな人が多い街でもありました。

浜松医科大学の時は、古戦場巡りをしていました。浜松市は、浜松城をはじめとして徳川家康にまつわる地域でもあり、多くの史跡がありました。また、清水の次郎長の子分、森の石松のお墓もあり、墓石の一部を持っていると賭け事の運が良くなると聞きました。

名古屋大学の時は、国会議員への対応や来訪者が多かったこと、東京への出張も月平均で2~3回あり、とにかく忙しかった時期でした。また、岐阜大学との法人統合に向けての作業もあり、この3年間を振り返ると忙しかった記憶しか思い出せませんでした。

金沢大学の時は、最初の1年間は北陸地区の観光地巡りをしていましたが、コロナ禍による行動制限により、自宅に帰ることも出来ない時期がありました。また、初めての雪国での生活を体験し、12月から2月の降雪時は、雪かきも体験しました。雪が降ると2・3日は大学と宿舎の出入口や道路、埋もれた自家用車の除雪に追われて、体力と忍耐が必要な3年間でした。このように、赴任先で様々なことを経験し、その土地の歴史や文化にも触れながら11年間を楽しく過ごしてきました。これまでの経験を活かして、施設部の役割や、やるべきことをよく考えて、三重大学の今後の発展に繋げていきたいと思っております。

国立大学は、平成16年度に法人化され、令和4年度より第4期中期目標・中期計画期間

となりました。東海地域では、名古屋大学と岐阜大学の法人統合がなされ、令和 2 年度より東海国立大学機構(1 法人 2 大学)としてスタートしています。このように国立大学を取り巻く社会情勢は、急速に変化しつつあり、国立大学も大きく変わろうとしています。三重大学では、2030 年を見据えた大学のあるべき姿に向けて改革に取り組んでおり、これまでの「基本理念」、「目標」を見直すとともに、教育、研究及び社会共創の機能強化に向けて、新たに「三重大学ビジョン 2030」の策定に、全学一丸となって取り組んでいるところです。

また、環境面においても大きく変わろうとしています。令和 2 年 10 月の臨時国会において、菅義偉内閣総理大臣は「2050 年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするすなわち 2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す。」ことを宣言されました。このことを受けて国が様々な方針を打ち出し、三重大学も「SDGs」への取組や、政府が掲げている「2050 年カーボンニュートラル」の実現に向けて動き出しました。建物の ZEB(Net Zero Energy Building)化や、風力・太陽光発電等による再生可能エネルギーの利用による二酸化炭素排出量の抑制数値を掲げた「三重大学 2050 年カーボンニュートラルに向けた取組計画」を策定する予定となっています。この計画において、次世代型スマートキャンパス(コージェネレーションシステムにより、大学で使用する電力の約 40%を発電)の再構築も検討していきたいと考えています。

ここで、現在進めている施設整備について紹介したいと思います。施設部では、新しい正門の整備に着手しています。現在の正門は車両専用として残し、国道側のバス停付近をオープンにして、人と自転車が入構できる新たな正門を整備します。この整備を車両、自転車及び人の動線を分離した「安全なキャンパス」への第一歩としたいと考えています。また、現在の第一食堂の隣に「新たな食堂(共創プラザ)」を建設しています。この「共創プラザ」への食堂の移転後は、現在の第一食堂を「クラブハウス」に改修する計画としており、附属図書館周辺も含めてその一帯を、学生が集い賑わいのあるエリアとして再構築します。



【共創プラザ イメージ図(北東面)】



【共創プラザ イメージ図(北面)】

本部管理棟の改修工事が 3 月に完了して、この 4 階に施設部の事務室があります。私の部屋の窓から新しい附属病院が見えます。振り返ると附属病院の計画を、文部科学省へ説明に行っていたことを懐かしく思うと同時に、国立大学を取り巻く厳しい状況に頭を悩ませています。「教育・研究の機能強化」、「産業界との共創」、「地方公共団体との共創」等、教育・研究の変化に遅れることなく、大学の施設・インフラが一体となった「イノベーション・コモンズ(共創拠点)」の実現に向けて、大学の機能強化を図っていきたくと考えています。

今後の三重大学発展のために、微力ながら私も頑張りたいと思いますので、諸先輩方にもご意見やご助言を頂きますと幸いです。お近くにお越しの際は、ぜひ施設部にもお立ち寄りください。



大学病院近況

三重大学医学・病院管理部長
伊藤 敦士

皆さまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

私は、令和4年4月1日付で医学・病院管理部長を拝命いたしました。ここに至るまで大変お世話になった多くの諸先輩方に感謝をしつつ、経歴について述べさせていただきたいと思っております。

採用は昭和57年4月に医事課外来係でした。当時は、電子カルテなど未知のもので診療費計算は手計算をしていました。電卓で計算した結果をソロバンで検算される先輩も見えました。その後、すぐに電算化の波が来て医療事務電算機室が設置され、診療受付、診療費計算のシステム化がスタートしました。採用から4年後に医療情報係へ配置換えとなりました。その後は、管理課用度第2係、司計係を経験し、生物資源学部へ配置換えになりました。次に当時の経理部主計課司計係で3年間勤務ののち、医事課医事係長に昇進し再び病院勤務が始まりました。次に管理課経営分析係、予算企画係、経営管理課副課長、財務部財務チーム副課長、医事課長、経営管理課長、総務課長を経て現在に至ります。大学職員となって41年目になりますが、病院勤務歴は31年目になり、私のキャリアのほとんどが病院勤務であります。病院で医事、管理、総務の課長を経験した者は、他大学でもあまり例がなく、巡り合わせとは言え、ありがたい経験であったと思っております。

最近の大学病院の出来事では世間をお騒がせした臨床麻酔部の事件が発覚したことで、諸先輩方には多大なるご心配をおかけいたしました。伊佐地前病院長、池田病院長のリーダーシップのもと、病院内外の多くの方々にご協力を賜り、今年度麻酔科教授として着任された新教授による立て直しが行われました。また、2年間にわたり実施されていまして東海北陸厚生局の監査も本年9月末をもって終了しました。現在では手術も本来の件数を安全に行われるようになりました。

新型コロナウイルス感染症対応では、帰国者接触者外来、PCRセンター、発熱外来棟の設置や里帰り出産への対応、入院前検査などの実施、大規模ワクチン接種会場、ワクチン接種センターの開設などを行ってきました。他機関への支援としては、宿泊療養施設への医師、看護師の派遣、クラスター対策支援として他病院や高齢者施設等でのクラスター発生時に専門の医師、看護師の派遣、三重県へは本学医師を医療政策総括監として派遣、県対策本部へも医師を派遣しました。また、当時最も医療が逼迫していた大阪府へも看護師を派遣しました。第5波の感染患者増加に伴い、新規入院患者の大幅な入院制限や緊急を除く手術の中止などを余儀なくされましたが、第7波が終わった今では1日も早く本来の診療に戻すべく努力しているところです。

大学病院では本来期待される先進医療・高度医療の提供といった機能を維持し、地域医療の「最後の砦」としての役割を果たすという使命があります。感染症対策と高度医療の両立を行うために2021年10月には国からの一部補助により、感染症危機管理センターを新たに

設置しました。これにより、コロナ禍及び今後の新たな感染症等の流行等不測の事態が生じた場合にも感染症のリスクを回避し、大学病院の役割を発揮できるものと思います。また、本年11月には当院に有するがん診療機能を集結させた、最新のがん治療を三重県民に継続して提供できる総合がん治療センターを設置し、患者を中心に据えた診療科・職種横断的なチーム医療を推進し、医療の質を向上させることを目的に診療を開始します。加えて、厚生労働省のモデル事業公募で東海地区では唯一採択されました脳卒中・心臓病等総合支援センターも設置します。当該センターでは患者・家族の相談支援窓口の設置、地域への情報提供・普及啓発、研修会・勉強会の開催など三重県や市町、関係団体、他医療機関と連携・協力しながらオール三重で事業を進めてまいります。

この冬に到来することが予想される新型コロナウイルス感染症の第8波は、季節性インフルエンザと同時流行すると言われております。今後も三重県の医療政策、他医療機関、医師会等との連携を取りつつ、大学病院としての使命を果たしてまいります。

末筆ながら、諸先輩の皆様にはコロナ禍ではありますが、健康に留意され、いっそうのご健勝であられますことを祈念いたしております。



志登茂会会長の8年目

志登茂会 会長 寺西 清

志登茂会の会員の皆さん何時もご理解とご協力ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染防止という国の方針を順守し、志登茂会は、昨年・一昨年と2年に亘り「春の総会・懇親食事会そして秋の親睦行事」の開催を諦め、長らく会員の皆さんと顔を合わせ和気あいあいと雑談を交わす機会が有りませんでした。皆さんお褒りなく年齢相当に元気で頑張っておられることでしょう。

今年度の「春の総会」は、コロナ感染者が若干減少してきた事もあり、思い切って開催いたしました。例年同時に開催してきた「親睦食事会」は、多人数が同席で会食することは芳しくないとのことで感染を回避するため実施せず、残念ながら出席者間の席を離し、お茶を飲みながらの些細な雑談会になりました。

「秋の親睦行事」の開催については、コロナ感染の第7波として7月～9月にかけて驚異的に感染者が増加し、役員会（例年8月に開催していた役員会も9月に延期）も感染状況を勘案しつつ多面から検討し、万が一のことを考慮し苦渋の思いで中止を決定させて頂きました。

その後、感染防止に関する国の引き締めも緩和され、外国人観光客を徐々に増加し、今まで中止していた各地のお祭り等も小規模ながら開催され、「津まつり」も3年ぶりに開催されている報道を目の当たりにし、会長として「秋の親睦行事」を中止したことに些か残念な思が脳裏を過っています。

何れに致しましても志登茂会としてもこの3年間、新型コロナウイルスに翻弄され、併せて会長の実力不足もあり、有意義な活動も出来ず申し訳なく思っています。会員の皆さんのご理解とご容赦の程何卒よろしくお願い致します。

最近、世界中で種々多難なことが起きています。相当落ち着いてきたが新型コロナウイルス感染、地球温暖化に起因する環境問題、ロシアのウクライナ侵攻に関する諸問題、日本でも安倍元首相の銃撃それに絡んだ旧統一教会の問題、円安等に伴う経済問題等数多くの難問があります。

これらの諸問題を見据えながらも我ら志登茂会の会員の皆さんは、何より自分の健康と家庭の安定を目指し、日々を過ごすことが肝要かと思えます。これからのこの思いに向かって自分なりに鋭意頑張ってください。

あと少々の期間ですが、皆さんのご理解とご協力を得ながら、8年目の会長職を無力ながら頑張りますので何卒ご支援ご協力方よろしくお願い致します。



近況報告

新入会員

井澤克弘

今年3月に定年退職を迎え、志登茂会に入会させて頂くこととなりました。よろしくお願い致します。

私は昭和57年7月1日に三重大学に採用され、名古屋大学への人事交流3年間を含めて、約40年間勤めさせて頂きました。最初に配属されたのは教育学部会計係で、その後、主に財務系(契約、経理、病院予算)への配属が多かったのですが、人事系の仕事も少し経験させて頂き、医学・病院管理部長職を最後に、定年を迎えました。定年まで勤めることができましたのは、諸先輩方のご指導ご鞭撻のおかげと思っております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

4月からは特任一般職員(再雇用職員)として、事務局棟5階の安全・防災・危機管理室で勤務させて頂いております。最近では、集中豪雨による河川の氾濫、土砂災害など甚大な自然災害が発生しておりますが、海に面した三重大学では「南海トラフ地震による津波災害への対策が重要課題」であると捉えています。最近は、国、県、市町や地域住民の方々も防災意識が高まっていると感じており、三重大学も遅れをとることなく、学生・教職員の方々にも高い防災意識をもっていただけるよう、啓発活動に取り組んでゆきたいと考えています。

定年になったら「●●●●へ行きたい」とか「○○○○がしたい」という話をよく耳にしますが、私そういったことを思うことはありませんでした。

定年前と定年後で変わったことといえば、退庁時間が早くなったことで、週末中心のスポーツジム通いだったのが、ウィークデイもジム通いするようになったことくらいです。

趣味は、月1程度のゴルフです。最盛期は遠い昔に過ぎ、満足できるスコアはできませんが、“ああでもない・こうでもない”と迷走しながらプレイできることに喜びを感じています。35歳の時に「第5腰椎分離症」と診断され、1年間ほどプレイできない時期もありましたが、医師の勧めもあり、平日は昼休みを利用して“歩き続けて25年”、休日のジムは“通い続けて20年”、その甲斐あってか、今のところ腰痛もなくゴルフを続けることができます。

もう一つの趣味は、“ボケ防止には指先を使うと良い”と聞いて、10年程前に再開したギターです。コロナの影響でお家時間が増え、最近「あいみょん」の曲を弾いて自己満足しています。

あと、10年程前から年1ペースで現存天守めぐりをするようになり、現時点で、国宝5城、重要文化財6城の11城は達成しました。400年以上経ってもほぼ当時のままの天守が残っているってすごいことだと思います。残すは重要文化財:弘前城のみとなりました。できれば今年度中に「現存天守12城全て制覇」を達成したいと思っています。

とりとめのない文章となりましたが、私の近況報告です。
今後ともよろしくお願い致します。



近況報告

新入会員

草川 雅彦

志登茂会の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年3月に定年退職を迎え、4月より志登茂会に入会させていただきました。

私は、昭和55年4月に教育学部に採用され、他機関への人事交流もなく、42年間三重大で勤めさせていただきました。その大半を財務系の業務に従事しまして、法人化の移行手続き等も財務部で経験しました。また管理職になってからの10年間は、学務系の業務にも従事しまして、初めて学生と直に触れ合うことができ、学生ファーストの視点に立った本来の大学職員の責務を再認識させられるいい機会をいただきました。

最終年度は、地域連携機能の強化と地域連携の推進を図るために事務組織を改編し、地域連携に関する部署を集約した「研究・地域連携部」が新設され、その初代部長を務めさせていただきました。定年まで勤め上げることができましたのも、諸先輩方のご指導ご鞭撻のおかげだと心より感謝しております。

4月からは特任一般職員（再雇用職員）として、全学同窓会担当の業務に就かせていただいております。今年度においては、三重大初のホームカミングデイを実施すべく、学生と協働して特設サイトを作成し、Webサイト上での開催ではありますが、現在、大学のホームページ上で公開しております。研究者の講話や現在の三重大のキャンパス風景、各研究科・学部の研究室紹介など、幅広く興味深い内容にしておりますので、是非、皆様にご覧になっていただきたいと思っております。

再雇用として引き続き勤めさせていただいておりますので、定年したという実感はあまりなく、唯一、仕事に対するストレスが緩和されたと感じるぐらいです。

健康のためにと、帰宅後は出来るだけ毎日、愛犬と1時間程度の散歩をするようにしています。音楽・映画鑑賞が趣味で、コロナ禍が落ち着けば映画館に頻繁に通いたいと思っております。また、現役の後輩の皆さんとの釣り大会にも参加させていただき、楽しんでおります。

簡単ではございますが、これが私の近況報告です。

皆様とお会いできることを楽しみにしております。今後とも、どうぞよろしく願います。



近況報告

新入会員

草川 弥生

令和4年4月より志登茂会に入会いたしました草川弥生です。

初めての総会にも出席させていただき、久しぶりに、諸先輩方のお顔を拝見することもできました。皆さん、とてもお元気で、人生はまだまだこれからだ！と思った次第です。

近況報告をいたしますと、令和4年3月末で退職後、再雇用で教育学部附属学校の事務室長として働かせていただいております。

三重大学に正規職員として採用されたのが教育学部でしたので、附属学校はなじみが無いわけでもなく、ただ、医事課では患者さん、学生支援チーム・学務部では大学院生・大学生、今度は附属学校で幼稚園児、小学生、中学生、特別支援学生と、大学のステークホルダーすべてにかかわることになるのかと、自分と大学との不思議な因縁のようなものを感じました。ちなみに部局も人文学部・教育学部、生物資源学部、工学部、医学部・附属病院、事務局（企画総務部・学務部）と人事異動しました。さらっと総なめした感じです。

現在の附属学校は、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校の4校で、かつてそれぞれの学校にあった事務が統合され、統合事務室として4校の事務を担っています。統合したのですから、当然、人員削減も行われており、正規職員は現在4人です。令和5年度からは統括長制度が導入され、附属学校企画経営室が設置されます。この制度により、大学教員3名を企画経営室の室長・副室長として配置することで附属学校をとりまとめることとし、校長職は、大学教員ではなく、教育委員会からの人事異動による教員が担うこととなります。いよいよ附属学校も企画経営を行わなければいけない時代になりました。

令和5年度の組織改編に向け、今年度その準備で大忙し…というよりも、そもそもの事務量の多さに驚いたというのが本音です。各部局で行っている一般事務（総務・人事・予算・財務）、各種調書、老朽化に伴う施設概算、採択された案件の建新・移転、入試、会議、学校事務。調書は文部科学省の初等中等教育局からの直接依頼も結構あります。大学に40年も勤めましたが、さすがにオールマイティというわけにはいかず、会計系の仕事は何かかりますが、人事労務に関しては少々苦戦しております。学校事務に関しては初体験ですが、ボリューム満点です。11月21日(月)には津市との連携に関する記者会見も行いました。

最初は大学のいろいろな部署に顔を出すことにも違和感がありましたが、必要に迫られ、今ではその違和感もなくなりました。現役の皆さんにもとてもよく助けていた

だいています。これから令和5年度に向けて、やらなければいけないことが目白押しです。想定外の再雇用生活ですが、三重大学のためになるのであれば、自分らしいのかもしれない。身体と家族を大事にしながら自分なりに頑張りたいと思います。

附属学校統括事務室は、附属小学校の3階にあります。
観音寺にいらした際は、是非お立ち寄りくださいませ。
子どもたちに癒されますよ。



フルムーン東日本紀行

志登茂会幹事 中西 治 幸

新型コロナの感染が始まってから約3年になります。日常生活の制約が幾度となく繰り返され、ストレスの多い日々が長く続きましたが、今回の第7波では感染者数が爆発的に増加したにも関わらず、久しぶりに行動制限のない夏を過ごすことができました。

今回は、新型コロナが始まる前に行った東京から北海道の旅をご紹介します。皆さんは JR のフルムーン夫婦グリーンパスをご存じでしょうか？5、7、12 日間の3種類があり、どちらかが 70 歳以上であれば、シルバー用の料金で利用できます。例えば、5 日間であれば二人 79,330 円で、国内の JR 線の全てのグリーン車が乗り放題(新幹線の「のぞみ、みずほ」は不可)となります。このチケットの良いところは、安価なうえ空いている列車であれば予約なしで乗ることができますから、旅行先で時間を気にせず観光ができるので、日程を自由に考えることができます。

では何故東日本になったのかと言えば、家内が以前からテレビドラマや新聞等で見たり聞いたりした観光地、ホテルに行ってみたいとの願望があったこと、私自身も初めてのところがあり、友人からもゆったりした旅ができると聞いていたので、東と西に分け旅行することにしました。

初日、5月の終わりに津駅をワイドビュー南紀で出発し、名古屋で新幹線(のぞみ号は使えないのでひかり号のグリーン車)に乗り換え、お昼過ぎに東京着、今夜泊まるホテルに荷物を預け、最初の観光地は葛飾柴又の帝釈天(男はつらいよ、ふうてんの寅さん)門前の「とら屋」で草団子を食べ、いつもの駅前でもふたりの銅像と記念写真、矢切の渡しを見学し、近くの寅さん記念館で懐かしい「昭和」にどっぷり浸ってきました。そしてスカイツリーの展望デッキ、展望回廊から首都東京を見下ろし、改めてすごいタワーだと感心してきました。さていよいよ待望の今宵の宿ですが、これもたつての家内の希望であった東京ステーションホテルです。赤レンガ造りで高さはありませんが、皇居に近く部屋の天井は非常に高く、少しリッチな気分を味わうことができました。そして、東京駅を発着する列車を見ながらのフレンチ、朝食は最上階のレストランでのバイキング、少々お高いですが食材、種類の多さも満足できる食事でした。

二日目は家内が初めて訪れる日光東照宮を目指し、東北新幹線「やまびこ」に乗車(もちろんグリーン席)、宇都宮に到着後、レンタカーで杉並木の中を通り抜け、日光東照宮で徳川家康の霊廟にお参り、中禅寺湖、いろは坂をドライブしながら駅に戻り、「なすの」で新白川駅に向かいます。今夜のお宿は那須白川のホテル、ゴルフ場を隣接するゆったりした豪華な雰囲気のあるところで、中華料理に舌鼓。

三日目は、今日も家内が初めて訪れる山形の「山寺」と、私も初めての「お釜」です。9時11分発「やまびこ205号」に乗車、福島駅で「つばさ127号」に乗り換え、山形駅には11時過ぎに到着、曇り空でいつ雨が降り出すか心配になり、レンタカーを借りる時スタッフに聞いたところ、夕方に天候が悪くなりそうなので、「お釜」から行くことにし、出発しましたが、途中山間部

のドライブウェーで霧が出てきて嫌な予感！！「お釜」に到着したら案の定、霧でまわりが殆ど見えません。暫く晴れるのを待っていましたがその気配なし、諦めて手摺に沿って「お釜」の見えるはずのところまで行きましたが、全く見えず戻ろうとした時、一瞬霧が流れて「お釜」の形だけは見ることはできますが、あの綺麗な色を見ることはできませんでした。残念無念、また次の機会に。そして山寺に向かう途中、天候は段々良くなっていく感じで、いつしか雨の心配はしなくて済むようになりました。こんなことなら先に山寺に行っていたら「お釜」見えたかも？と思いつつ諦めることにしました。さて山寺は傾斜がきつくて参道も長く、階段が多いのでお参りは大変です。途中、根本中堂、芭蕉像、奥の院、五大堂等々いくつかの建物がありますが、なかでも五大堂からの眺めは疲れを吹き飛ばしてくれるほど素晴らしいものでした。家内いわく、ここからの眺めはテレビドラマによくでてくるので、一度来たいと思っていたそうです。駅にもどり今宵の宿に向かうには、山形駅から仙山線で仙台に行くことができますが、本数が少なく不便なため、山形新幹線で福島に戻り仙台に行くことにしました。仙台は二人とも何度か来ていますので、駅に隣接した「仙台メトロポリタンホテル」に泊まり、近くのレストランで牛タンを堪能し、明日の列車旅に備え早めにやすむことにしました。

いよいよ今日は北海道に向かいます。8時06分発の「はやぶさ1号」で青函トンネルを通り抜け、新函館北斗駅で「スーパー北斗9号」、南千歳で「スーパーあおぞら7号」に乗り換え、一路帯広を目指します。帯広着は17時前、景色は良いのですが約9時間列車に乗り続けてグリーン席と言えども疲れ果ててしまいました。今宵の宿は「帯広北海道ホテル」です。ここは低層階の造りで庭園が広く、ゆったりとした北海道らしいホテルです。食事が美味しかった(特にパン)こと、翌朝の散歩で初めて見た黒百合の花が満開で綺麗だったことが印象的でした。

いよいよ旅行のメインイベントで、今日、明日とレンタカーで「北海道ガーデン街道」にある幾つかの庭園と美瑛を見学しながら旭川に向かいます。帯広駅前からレンタカーで出発、まずは十勝地区の「六花の森」、「十勝千年の森」、「紫竹ガーデン」いずれも隅々まで手入れが行き届き、散策するのに十分な広さがあり、懐れの庭園ばかりでした。ゆっくりと回りながら、球根やお土産物を買って、今宵の宿「富良野プリンスホテル」へ到着、ここは前泊のホテルとは違って、山間にある高層ホテルで、新緑の山々の景色がとても綺麗な眺めでした。

ついに最終日、ホテル前にある「風のガーデン」(同名の倉本聰脚本のTVドラマの舞台)を電動カートで周りながら、中井貴一、黒木メイサ？になった気分で見学してきました。そして旭川に向かう途中、「大雪 森のガーデン」「上野ファーム」に立ち寄りながら、旭川空港に到着。15時25分の便でセントレアへ、そして夜我が家に無事帰りつきました。

今回の久しぶりの長旅は、時間に追われることもなく天候にも恵まれ、ゆっくりゆったりできたので、文字通りフルムーンに相応しい良い時間を持つことができました。予定では翌年に西日本版に行く予定でしたが、新型コロナのため断念せざるを得ませんでした。3年経ち状況も変化してきましたので、是非来年は行きたいと考えています。皆さんも如何ですか、行先は自由ですよ！！

志登茂会会員皆さんの気ままな思い

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	令和4年度 皆さんの気ままな思い
1	辻 千津子	昭和58年12月	<p>いつもいろいろとありがとうございます。 毎号を長い間楽しませて頂き、皆様の様子を聞かせて頂きました。 今年は腰痛となり、毎日リハビリに通い、今は元気になりましたが、1人での外出は許されませんので、自分世帯で近所の方々と話し込む毎日を楽しんでいます。</p> <p>90才の誕生日には、息子、孫、ひ孫と沢山で祝ってくれます。 これを最後に退会させていただきます。 最後ですので、五千円寄附させていただきます。 どうかよろしく願います。</p>
2	杉谷 秀也	昭和61年3月	
3	勝谷 武	昭和63年3月	<p>父武は令和4年9月6日に他界しました。 (ご家族から葉書が届きました)</p>
4	小菅 佳年子	昭和63年3月	
5	山北 信子	平成 4年3月	
6	遠山 雅三	平成 6年3月	<p>米寿に似合った元気具合で過ごしています。 ここ三年余りはコロナに神経をとがらし、近々はウクライナ・ロシアの字句に注目です。</p> <p>日常で最も心がけているのは、健康第一、それがためにスコア 二の次のゴルフ・70手習いの囲碁・1日五千歩目標の散歩等を元気の種にしております。</p> <p>悩みもコレありで物忘れのひどさに閉口しており、老夫婦が演ずる物忘れを互いに補い合い日々をしのいでいます。 友人等に対処法など聞いて明解を期待していますが、未だに音沙汰がありません。 これって、物忘れのせいでしょうか。</p>
7	藤森 迪哉	平成 6年3月	<p>元気ですが・・・今、脳梗塞の治療中です。</p>
8	松田 隆作	平成 8年3月	<p>最近、足腰の衰えを感じ、忘れっぽくなりました。毎朝天気の良い日は5:30頃から小一時間散歩に出掛け、帰宅後6:25からテレビ体操を行うことを日課としております。</p> <p>田は4年前から担い手に管理を依頼し、残った畑で自家用の野菜類を栽培し、子供や親戚へ届けています。なお、残りの畑には景観用のマリーゴールドを栽培していますが、除草作業が大変です。開花時期はきれいですが、・・・</p> <p>終わりになりましたが、会員皆様のご健康、ご多幸とご活躍の程祈っております。</p>
9	大嶋 勝彦	平成11年3月	

志登茂会会員皆さんの気ままな思い

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	令和4年度 皆さんの気ままな思い
10	原 林 幸 一	平成12年3月	
11	浦 田 孝 一	平成14年3月	元気に過ごしています。 健康のため、毎日散歩、ラジオ体操、筋肉トレーニングをしています。
12	黒 川 清 司	平成14年3月	今年6月に満80才となりました。 途端に急激な体力の衰えを感じて狼狽しております。深刻な病気でもと、病院で色々調べて貰いましたが、今のところ特段の異常はなく、加齢によるものだろうと自分を納得させる日々を送っています。 今後共ご交誼のほどよろしく申し上げます。
13	大 市 勝 子	平成15年3月	
14	寺 西 清	平成15年3月	老体の健康維持に不安が・・・！！ 今年の8月中旬に「後期高齢者健康診断」を市内の開業医で受け、その際、「朝から頭痛、倦怠感等が続いている。」旨を相談したところ医師から「熱中症が考えられるので無理な運動等を控えるよう」助言があり、そのような生活を心掛けました。 しかし体調は一向に回復の兆しがないので、8月末日に健康診断の結果を聞きに行った際、「依然として頭痛、倦怠感等が治まらない。」との意向を伝えたら、医師より『睡眠時無呼吸症候群』の検査を促されました。 10月上旬に日赤(伊勢赤十字病院)で1泊2日の検査を受けました。初日の夕刻に体の各所にセンサーを貼り付け検査が始まり、翌朝まで継続測定し検査が終わりましたが、検査結果の説明は10月下旬とのことです。 今まで身体だけは自信があったのですが、80歳という年齢と斯様な検査の必要性を鑑みると今後の自分の健康維持に関し一抹の不安が脳裏を過っています。
15	村 岸 萬喜男	平成15年3月	今年の夏はこれまで経験したことがないほど酷暑の日が続いた。 8月のゴルフで後半に頭がボ～となり体に力が入らなくなり、これは熱中症だと思い、すぐに水分補給、首に濡れタオルを巻いて乗り切ることができました。 数日間体がだるく、熱があるような感じが続きました。好きなゴルフも歳だから無理をせずに1年でも長く楽しみたいと思っています。11月に80才になります。老いを感じながら、どうにか元気にしています。

志登茂会会員皆さんの気ままな思い

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	令和4年度 皆さんの気ままな思い
16	加藤 孝生	平成15年9月	<p>2022年もコロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻、円安による物価高と暗いニュースが続いていますが、私達豊が丘コミュニティークラブは、シニアライフを楽しく過ごすために、活動の一環として次のようなサロン活動を行っていますので紹介させていただきます。</p> <p>仲間と楽しむ場が大事であると考え、「通いの場」・「憩いの場」として月2回倉庫でサロンを開催しています。</p> <p>中身は、コーヒーを飲みながらおしゃべりサロンが主ですが、最近は手芸教室や脳は使わないと日々衰える！とのことから、脳活パズルを行うなど健康寿命を伸ばすような取り組みを行っています。</p> <p>サロン活動を行うことにより、安否確認など情報交換のできる場としてメリットがあります。</p> <p>私も来年80歳の壁を超えることになります。好きなことだけするような自分らしい終活の準備をする時期が来たものと思っています。</p>
17	河合 勝己	平成16年3月	
18	北川 昭義	平成16年3月	<p>日々是好日</p> <p>この原稿を書くにあたり、昨年の会報の「志登茂」(56号)に投稿した「私の生活パターン」を読み返してみました。この1年間の生活行動は、昨年同様殆ど変わっていません。何も変わらない平凡な日々であることは、「幸せ」なことなのではないかと思っています。只、時間の経過は、歳を重ねるごとに速くなってきているように感じる今日この頃です。「正月が過ぎたら、大晦日が来た」と言うのも何となく解るような気分です。</p> <p>昨年と変わってきたと実感するのは、物忘れが一段とひどくなっていることです。例えば、植木に水をやると思い玄関を出た途端にそのことを忘れ、庭先をうろうろしているうちにやっと思い出す有様です。</p> <p>そんななかで、脳みその活性化のための「一人俳句」を今も続けています。毎月決められた「お題」(季語)の句を二句インターネットで投句しています。成績評価は、1月に入選した後、2月から9月までの8ヶ月は選外となり、中々思うようにはなりません。10月の「お題」は「秋祭」で、只今、推敲中です。</p> <p>因みに、入選した今年の1月の句は「お題」は「初富士」(正月の季語)で、若い頃、東京で勤めていて、正月に実家に帰省した折、新幹線の窓から見た美しい富士山を思い出して、詠みました。</p> <p style="text-align: center;">○初富士を独り占めする車窓かな</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
19	菅野 薫	平成16年3月	<p>最近、体力・気力・物忘れの進行が早くなりました。</p> <p>昨年友人から丹波の黒豆を頂き、今年初めて栽培しております。</p> <p>やっと1か月余りで収穫が出来そうで喜んでおります。</p> <p>今後も自然環境に馴染み体力造りになる事を期待して、これからも家庭菜園を続けたいと思っています。</p>

志登茂会会員皆さんの気ままな思い

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	令和4年度 皆さんの気ままな思い
20	杉本 勇	平成16年3月	<p>皆様お変わりございませんか。 私は退職して早18年となり、喜寿を迎えました。気持ちの面では何ら変わらないですが、「歳はとし」人並みに物忘れや体力、視力に衰えを感じております。</p> <p>現在、新型コロナウイルスも感染者数減少傾向にありますので、この機会に「全国旅行支援」を利用して妻とささやかな旅行を楽しみたいと思っております。</p> <p>いざ 山形へ！！</p>
21	寺嶋 資文	平成16年3月	年齢相応に元気です。
22	長谷川 美穂子	平成18年3月	<p>御無沙汰しております。 年令を増すと一年間を早く感じます。 今年は喜寿です。同年齢の方との話題は決まって健康の不安、この先行きの事など自分も含めて、気持ちが落ち込む事ばかり、私は七年目から一人暮らしです。</p> <p>気軽な面もありますが、なんか取り残されたような気分になって、さみしくなる時もあります。仕方ないです。なるべく多くの人と接するよう心がけています。ボランティア、サークル活動と。</p> <p>又、この年令になって新たに習い事を2個増やして、自分の為、健康でいるように頑張りたいと思います。 皆様もお変わりなく元気でお過ごし下さいますよう祈念しております。</p>
23	村田 克	平成19年3月	
24	井上 務	平成20年3月	
25	服部 美佐子	平成20年3月	<p>このところ朝晩めっきり寒くなってきましたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか？</p> <p>さて、ここ最近身近に訃報や病気だと耳にする機会が多くなり、寂しく、つい自分の老後は？ 何て考えてしまいます。何か明るい話、楽しい事がないものかと思えます。近々小学校の頃のお友達とお昼を一緒することになっており、今から楽しみにしております。</p> <p>これからは健康に感謝しつつ、大いに遊び、おいしい物を一杯食べようと思えます。</p>

志登茂会会員皆さんの気ままな思い

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	令和4年度 皆さんの気ままな思い
26	赤塚正夫	昭和55年3月 転勤 平成20年3月 (長崎大学)	<p>外での飲み会も少なくなり、家事をこなしながら家でDVDを観たり、スポーツ番組を観たり、の生活です。</p> <p>海が近いので、夕方海岸を散歩するのが日課です。 友人も病気がちな方が多く、その方々の健康と安穩を祈る毎日です。 三重大の発展も記念しています。</p>
27	中西和康	平成21年3月	<p>会員の皆様にはお元気でお過ごしのことと思います。 最近、骨シンチグラフィ検査を受ける機会があり、結果は腰椎圧迫骨折と医師から告げられました。</p> <p>骨折したときの自覚症状はなく、腰の痛みは鎮痛湿布薬を貼っていればそのうち治まっていくものと思っていた等と説明すると専門医の受診を勧められたので併せて骨粗鬆症の検査も受けることにしました。 「いつのまにか骨折」と言われるように、高齢者にはとても多い骨折の一種であり、治療にはコルセットを二ヶ月程度付けるようにとの診断でした。</p> <p>今では殆どコルセットを付けずに過ごせるようになりましたが、再骨折を予防するため骨量減少を補う内服薬による治療を現在も続けながら、体調が良く気持ちにゆとりがある時は30分程度ゆっくりと散歩をして気分転換を図る生活を続けています。</p>
28	長嶋重次	平成21年3月	<p>昨年から小さい畑で野菜を作っております。なかなか楽しいものです。 目の病気を患ってから、健康の大切さを痛感しております。 皆様もご自愛ください。</p>
29	沼田敏男	平成21年3月	<p>定年後から野菜作りを始め年々種類を増やした結果、昨年は80種類を超えました。 来年は100種類に挑戦します。</p>
31	諸岡 眞	平成21年3月	<p>今年の重大事件は安倍元総理大臣の暗殺国葬と言っていいと思います。戦後の我が国や世界に与えた影響(インド太平洋構想)等、おそらく後世の歴史教科書に記述されることになりましょう。</p> <p>可哀そうに年金も一度も貰わず殉職されたことを思えば、我々国家公務員崩れで、年金を充分頂いて生き永らえているのは少し恥ずかしいと思う人いますか。仕事充分したのかな。いやいや年金は保険制度早く亡くなられた者の上りで成り立つと云う理論もあります。</p> <p>厳しい意見具申になりましたが、皆さんお元気ですか。</p>

志登茂会会員皆さんの気ままな思い

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	令和4年度 皆さんの気ままな思い
30	廣 信 幸	平成22年3月	<p>皆さんお元気でお過ごしですか。 私、現在73歳、来年4月の運転免許証更新で「高齢者講習」が必要とのこと、元気なつもりでも無理矢理”老化”を確認させられる今日この頃です。</p> <p>三医会勤務も10年となりましたが、前田政彦さんと二人で楽しく仕事させてもらっています。</p>
32	大 西 幹 雄	平成22年3月	
33	吉 村 裕 幸	平成23年3月	<p>無事コメの収穫も終えホッとしている今日この頃です。 コメの出来栄は今までで一番の良さと思っているところです。 日々、テニスやゴルフでの体力維持とボケ防止上タブレットでの囲碁対戦の朝晩です。</p> <p>今年も蔵出しでなく「小屋出し生」を醸造し遊び仲間と試飲会等で楽しんで披露しております。伊賀に来られることがあればご連絡下さい。(試飲出来ます。)</p> <p>P.S 第74回豪慮振コンペが11月2日鈴鹿GCで開催されます。年2回の開催で参加希望があればご連絡ください。</p>
34	市 川 知 恵 子	平成24年12月	<p>今年はこちらで催し物が再開されています。 桑名市石取祭り「日本一やかましい祭り、ユネスコに登録された祭り」 京都五山送り火2022伝統の炎そして津まつりが再開され、テレビで放送されました。それを見ながら録画しました。</p> <p>今でも時々その録画を見て楽しんでいます。 志登茂会の催し物も再開出来ます日を楽しみにしています。</p>
35	中 西 治 幸	平成24年3月	<p>高血圧と不整脈の薬を飲みつつ、老人性白内障の予防に目薬を処方してもらうくらいで、健康面では特に変化はありません。</p> <p>今年から畑を一区画借りることになり、手始めにと胡瓜と茄を植え付け、上々の収穫をすることができました。胡瓜はたった2本植えただけなのに、毎日大量に収穫できるので、ご近所に配りましたが、それでも消費するのに毎日胡瓜ばかり食べていたので、来年は1本に減らすことに決めました。</p> <p>趣味は相変わらず、ゴルフと釣りに行っていますが、今年はキスが不調で、大きさとともに満足できない釣果だったので、これから秋の陣でハゼ釣りを楽しみにしています。</p> <p>またゴルフは、毎年成績を集計し、平均スコアをだしていますが、退職後最悪の年になりそうです。71歳！！そろそろ限界を感じつつも、まだ大丈夫と心身にムチ打ちながら、今しばらく頑張るつもりです。楽しむことを忘れずに。</p>

志登茂会会員皆さんの気ままな思い

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	令和4年度 皆さんの気ままな思い
36	前田 政彦	平成24年3月	<p>「日々の出来事」</p> <p>退職してから早いもので10年が経ちました。古希を迎え、若い頃、70歳は遠い先のことと思っておりましたが、実際迎えてしまうと感慨深く思います。</p> <p>まだまだコロナは収束しませんが、特に規制もありませんので、できるだけ近場に出かけるように心がけています。車や電車で出かけたりしています。それから、田んぼの忙しい時期には、月1回地域の農家の方と出会い作業で農道の補修作業や草刈りなどを行っています。身体を動かすことはいいことです。</p> <p>いよいよ今年も冬の到来が間近です。相変わらずですが、楽しみな薪ストーブの時期がやってきました。薪を作って積んで乾燥していよいよ出来上がりです。煙突掃除などを終えて、やっと数日前に今年も薪ストーブをつけました。最初が何ともいえないものがあります。薪割りは運動にもなりいいものです。これからは、何事も無理をせず、できる範囲でしていこうかなと思っています。</p> <p>皆さんとお会いできる日を楽しみにしております。</p>
37	村山 充	平成24年12月	<p>こだわりの鉄道探訪 観光・環境・交流をサポート、持続可能な発展を支え、未来へつなぐローカル線沿線を軌道に乗せる鉄道をこよなく愛し50年、2万キロチャレンジ達成、その先今なお果てしない鉄道探訪継続中、興味津々津々浦々網羅的に撮りためた中から「鉄道150年」にちなんで、とっておき初公開写真を本年10月中、亀山駅前郵便局にて展示させていただきました。四季折々全国台湾の鉄道風景をFacebookで連日公開しております。三重から世界へ環境先進大学 三重大学OB</p>
38	瀬古 一巳	平成25年3月	<p>この頃思う事</p> <p>暑かった夏も終わり、ほっとする間もなく急に寒くなり、最近の季節に春と秋がなくなりつつあるのは、異常気象のせいでしょうか？ 我が家の93歳のエリザベス(母親)が、先日松阪合唱フェスティバル2022に「コーラスお花畑」チームとして参加するというので、見に行かされました。</p> <p>この年になって親の発表会を見に行くとは、思ってもいませんでした。家に帰ってきた母親に「今日の瀬戸の花嫁の歌良かったなあ」と言う「何のことや」には、返す言葉もありませんでした。(笑)</p> <p>昔から親より早く死ぬのは一番の親不孝と言いますが、今の母親を見ているとこのままだとこちらが危ないと思うことがあります。 また皆さんとお会いして、楽しく飲める日を楽しみにしております。</p>

志登茂会会員皆さんの気ままな思い

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	令和4年度 皆さんの気ままな思い
39	世古 昌也・ みき子	平成26年3月	<p>会員の皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。 長引くコロナ禍で思うように出掛けることが出来ない日々を過ごしておりますが、残り人生が限られてきた今 with コロナでワクチン接種や感染症対策をし、衰えていく体力、気力、知力と相談しながら、遠出の外出などを楽しみたいと思っています。 先月、母94歳を自宅で看取り、今は夫婦ふたりの生活になりました。今のところ共に大病もなく、家庭菜園を楽しみながらゆるりとした生活をしています。 皆様、無理をせず、お元気でお過ごしください。</p>
40	松山 壽男・ 恵子	平成26年3月	<p>日々、畑仕事に汗を流しています。 旅行など楽しく色々な所に行きました。 1日1日大切に過ごして下さい。</p>
41	伊藤 謙一郎	平成27年3月	
42	倉野 敦夫	平成28年3月	<p>退職した昨年はこれまでやりたかったことを、出来ることから順番に少しずつ楽しみながら始めていましたが、元々好奇心が旺盛な性格だけに、今年はどんどんやりたいことが広がっていき、また野菜やブドウ作りの他地元自治会の仕事、孫の世話、母の病院通いなどいろいろなことが増え始め、収集のつかない忙しい毎日を過ごしています。</p> <p>そんな中ですが以前手術した股関節の具合もずいぶん良くなってきましたので、暇を見つけては地域のバド練習会に出かけています。最近は大学の現役職員のバド愛好者の皆さんに混じて時々試合にも出させてもらっています。</p> <p>多少の病院通いはありますが元気にしておりますので、引き続き健康に感謝しながら毎日を過ごさせていただきたいと思っています。 健康寿命は長くありたいものです。皆さんもご自愛ください。</p>

志登茂会会員皆さんの気ままな思い

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	令和4年度 皆さんの気ままな思い
43	伊藤文雄	平成29年3月	<p>20年前より続けている「生命の駅伝」は、今年も初日の市民公開講座に参加とともに三重大学キャンパスを走ることで開始、コースを企画した菰野町から四日市では休憩場所に智積用水も加えるなど楽しめるような工夫もしています。その後は、仕事の都合最終日のみの走りとなりましたが、近年は、松阪市飯高町波瀬から飯高町宮前までと無理をしないようにしています。飯高町は少子化が他の市町に比べ加速しており、廃校となった小学校の横を走るのは少し寂しい気持ちもありますが、ランナー達は沿道のコースで多数の方々から募金を預かり、励ましの声援を受けながら走ります。高齢者も多く見かけます。今年は走れませんでした。尾鷲や熊野など過疎化が著しい地域における人達の医療への思いを大切に受け取り、つないでいきたいと考えています。</p> <p>「生命の駅伝」は、毎年5月に多くのランナーとサポーター等が三重県内29市町の医療機関や行政機関などを活動支援のために走って訪問します。集まった募金は、全て三重大学附属病院に「がん研究資金」として届けられ、これからの医療を支えています。見かけたら応援など、今後ともご理解、ご協力等いただければ幸いです。</p> <p>なお、小生においては、両眼とも重度の網膜剥離などを発症、幾度も眼の手術を受けるなど、医療の支えにより現在があることに感謝の意を込めて、がん研究支援の応援活動を今後も続けたいと考えています。今後ともよろしく願います。</p>
44	大西真二	平成29年3月	
45	葛西勇	平成29年3月	<p>再雇用5年のところ、1年延長でまだ大学で仕事しています。年明けの3月末で仕事は辞めますが、その後は何をしようかと思案しております。</p>
46	栗田敏幸	平成29年3月	
47	中西勝	平成29年3月	
48	東川正朗	平成30年3月	<p>本年4月から2度目の町内会長をしています。コロナ禍で町内会活動ができないまま2年が経過し、沢山の課題がありました。町内会費の変更、婦人会の解散、町内会役員選挙制度の改正、公民館大改修など仕事を役員の方としています。</p> <p>そのような中で豪華列車の旅「ななつ星in九州」が2年越しのキャンセル待ちで乗車することができ、今までで忘れることができない最高の旅行となりました。今年度は、町内会活動、旅行など忙しい日々を送っています。</p>
49	木村信之	平成31年3月	

志登茂会会員皆さんの気ままな思い

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	令和4年度 皆さんの気ままな思い
50	中島 英雄	平成31年3月	<p>いつの間にか晩秋となり、週3程度の自転車通勤の朝は、少し汗ばむ程度で快適です。</p> <p>仕事面では、男女共同参画からダイバーシティ推進となり、「三重大学ビジョン2030」の策定に相まって「三重大学ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」やら「同推進計画」等の策定に向けて、学長や副学長等との打合せが増え、結構バタバタしています。</p> <p>ところで、昨年度就任された第13代の伊藤正明学長は、広報に注力されていて、附属病院長時代には病院公式マスコットキャラクター『ミーベとミッピー』を誕生させました。(ご存知の方は少ないかも知れませんが…)この程、三重大学の公式マスコットキャラクターを作成するということで、学内にデザイン案の募集が開始されました。募集期間は来年の1月末となっていますので、4月ごろにはお目見えとなるかも知れません。</p> <p>どんなマスコットが誕生するのか、乞うご期待!!</p>
51	山崎 晴夫	平成31年3月	
52	稲垣 義一	令和 2年3月	<p>令和4年3月末日でもって大学での職を辞して、4月からは週のうち2日(水、金)だけ働いています。職務は草刈りを主とした環境整備です。大学とは異なり、対人関係はほとんどなく、気分的には楽をさせてもらっています。体力維持のため運動だけは絶やさず、バレーやテニポン(室内テニス)をしている近況です。</p>
53	下 初	令和 2年3月	
54	前川 豊孝	令和 2年3月	<p>退職してから早3年目となり、現在の仕事にも慣れて元気で過ごしています。</p> <p>学内の正門周辺の整備工事が進められ、随分と様変わりするようです。最近気候も良くなって来たので、出かけたりすることも増え、それなりに楽しんでいます。</p> <p>とにかく、まだまだ健康で元気でいられるように努力して過ごしていきたいと思っています。</p>
55	山田 浩之	令和 2年3月	<p>定年後3年目となりましたが、引き続き病院財団三翠会に勤務しております。</p> <p>健康面では、今のところコロナには感染していませんが、相変わらず高尿酸血症薬と降圧剤を服用しています。特に血圧は、最近の円安の動向(140~150円/ドル)に酷似しており、さらに円安(高血圧)が進まないか心配している今日この頃です。</p> <p>しかし、政府の為替介入ならぬ、「禁酒」「節酒」介入は遠慮したいです…。</p>

志登茂会会員皆さんの気ままな思い

(退職年月順に表示)

No.	氏名	退職年月	令和4年度 皆さんの気ままな思い
56	谷 辻 正 徳	令和 3年3月	「皆様お元気でしょうか。私も昨年同様、使送業務に励んでおります。ただ、学内の制限速度が20km/h未満と知らされ、プレッシャーを感じております。また、この会報で皆様方のお声を楽しみにしております。」
57	井 澤 克 弘	令和 4年3月	6頁をご覧ください。
58	草川 雅彦・ 弥生	令和 4年3月	7～8頁をご覧ください。

令和4年度 志登茂会総会式次第

1. 開会の辞
2. 新入会員（退会）の紹介
3. 会長の挨拶
4. 議案の審議
 - (1) 令和3年度経過報告 (資料 1)
 - (2) 令和3年度決算報告 (資料 2)
 - (3) 令和3年度監査報告 (資料 3)
 - (4) 令和4年度予算（案） (資料 4)
 - (5) 役員改選 (資料 5)
 - (6) 会報「第57号」の発行について
 - (7) その他
5. その他
6. 閉会の辞

経過報告

令和 3年 4月13日 会計監査の実施
第1回役員会（令和3年度事業計画、総会等）

令和 3年 4月30日 各会員に総会資料郵送し、確認及び回答依頼
（コロナ禍のため総会開催中止）

令和 3年 8月24日 第2回役員会
（メール会議：親睦行事の中止決定、会報発行準備）

令和 3年11月24日 会報56号の発行

令和 4年 2月15日 第3回役員会（令和4年度事業計画、総会等）

☆新入会者

草 川 弥 生 氏
草 川 雅 彦 氏
井 澤 克 弘 氏

☆退会者

渥 美 文 毅 氏	令和 3年 9月21日死亡
高 岡 秀 氏	令和 4年 3月31日付
高 田 繁 則 氏	令和 3年 3月31日付
西 川 忠 夫 氏	令和 3年 3月31日付
西 口 章 一 氏	令和 3年 3月31日付

資料 2

令和 3 年度 志登茂会収支決算書 (案)

【収入の部】

(単価 円)

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
前年度からの繰越	362,259	362,259	
会 費	124,000	120,000	藤森迪哉氏 (令和 4 年度分前納)
預 金 利 息	2	2	
雑 収 入	0	0	
計	486,261	482,261	

【支出の部】

(単価 円)

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
印 刷 費	30,000	0	会報第56号 (学内で印刷製本)
会 議 費	20,000	10,276	監事監査・役員会 お茶・昼食代
通 信 費	35,000	46,983	会報・総会資料はがき発送料、振込手数料
事 務 費	10,000	0	
行 事 等 補 助 費	70,000	0	
予 備 費	20,000	0	
小 計	185,000	57,259	
翌年度へ繰越	301,261	425,002	
計	486,261	482,261	

会計監査報告書

令和 4年 4月12日

志登茂会
会長 寺西 清 殿

監事 瀬古 一 巳



監事 前田 政 彦



志登茂会会則第5条第5項により、令和3年度の会計監査の実施に当たり、収支決算その他帳票類を監査した結果、すべてが適正であったことを認め報告します。

令和4年度 志登茂会収支予算書（案）

【収入の部】

(単価 円)

項 目	令和4年度 予 算 額	令和3年度 決 算 額	増減額	備 考
前年度からの繰越	425,002	362,259	62,743	
会 費	120,000	120,000	0	60人分
預 金 利 息	2	2	0	
雑 収 入	0	0	0	
計	545,004	482,261	62,743	

【支出の部】

(単価 円)

項 目	令和4年度 予 算 額	令和3年度 決 算 額	増減額	備 考
印 刷 費	10,000	0	10,000	会報第57号印刷等
会 議 費	20,000	10,276	9,724	会議等お茶代・昼食代
通 信 費	50,000	46,983	3,017	総会資料・はがき 会報等発送 振込手数料
事 務 費	10,000	0	10,000	封筒等
行 事 等 補 助 費	70,000	0	70,000	行事等補助
予 備 費	20,000	0	20,000	
小 計	180,000	57,259	122,741	
翌年度へ繰越	365,004	425,002	△ 59,998	
計	545,004	482,261	62,743	

令和4年度 役員改選任（案）

志登茂会役員任期は、2年とする。但し再任は妨げない。（会則第7条）

役員一覧

令和 4年 6月 5日総会決定

役員名	氏名	任期
会長	寺西 清	令和 5年3月31日
副会長	加藤 孝生	令和 5年3月31日
同	市川 知恵子	令和 5年3月31日
幹事	北川 昭義	令和 5年3月31日
同	長嶋 重次	令和 5年3月31日
同	中西 治幸	令和 6年3月31日
同	葛西 勇	令和 6年3月31日
同	伊藤 文雄	令和 5年3月31日
同	東川 正朗	令和 5年3月31日
同	諸岡 眞	令和 5年3月31日
監事	瀬古 一巳	令和 6年3月31日
同	前田 政彦	令和 5年3月31日
事務局	竹谷 吉弘	

なお、任期の解釈は、所定（上記）の任期満了後も、次期総会までは継続することを平成13年度の総会で確認した。

志 登 茂 会 会 則

第1条 この会は、志登茂会と称し、事務所を三重大学内（津市栗真町屋町1577番地）におく。

第2条 この会は、会員相互の親睦を密にし、おのおのの心身の健康の増進を図るとともに、教養をたかめ、かつ、三重大学の発展のため協力することを目的とする。

第3条 前条の目的を達成するため、次のことを行う。

- 一 あらゆる方法、機会をとらえて、会員相互の親睦を量ること。
- 二 互に励まし、助言し、心身の健康の保持増進に努め、教養をたかめること。
- 三 三重大学の発展のため、有形無形の協力をすること。
- 四 会報を発行すること。
- 五 その他前条の目的を達成するため、必要なこと。

第4条 会員は、三重大学事務系職員であった者で、この会の目的に賛同する者とする。

第5条 この会に、次の役員をおく。

- 一 会 長 1 名
- 二 副会長 2 名
- 三 幹 事 若干名
- 四 監 事 2 名

2 会長は、この会を代表し、会務を統轄する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、これに代わる。

4 幹事は、会長の命を受け、常務を処理する。

5 監事は、会計を監査する。

第6条 役員は、会員の推薦により決める。

第7条 役員任期は、2年とする。但し、再任を妨げない。

第8条 この会は、年一回定期総会及び懇親会を開くものとする。但し、必要に応じ臨時に開くことができる。

第9条 この会計は、会費及び寄付金その他によってまかなう。

2 会費は、一世帯あたり年額2,000円とする。但し、必要に応じ、臨時に徴収することができる。

第10条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

第11条 この会則の改廃は、総会の議を経なければならない。

附 則

- 1 この会則の一部改正は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この会則の一部改正は、平成15年4月1日から施行する。



令和4年度 志登茂会総会（4. 6. 5（日） 於：三翠会館）

菅野 薫	北川昭義	葛西 勇	伊藤謙一郎	東川正朗	前田正彦	伊藤文雄	中西治幸	諸岡 眞	長嶋重次
草川雅彦	草川弥生		井澤克弘		寺西 清		原林幸一	遠山雅三	加藤孝生

事務連絡

本年も前年通り、三翠会館内事務室に職員が常駐して、「志登茂会」のお世話をしておりますので、会費納入方法、その他のお問合せ・連絡については、下記までお願いいたします。

〒514-8507 津市栗真町屋町 1577

三重大学生物資源学部三翠会館内

執務時間：平日 9時から16時

電話：059-231-9677

Mail：dosokaijimu@ab.mie-u.ac.jp

編集後記

表紙の写真は、昨年度行われた本部管理棟及び翠明荘の外壁及び内装の全面改修が昨年度末に終了しましたので、改修後の本部管理等の写真を表紙に掲載させていただきました。

特別寄稿として、向井施設部長から「イノベーション・commonsの実現に向けて」と題し、執筆いただきました。三重大学採用後の三重大学における経歴及び転出後の11年間の各赴任地での思い出話を交えながら、国立大学を取り巻く社会情勢、三重大学の今後の目標、現在進められている施設整備内容について紹介していただき、今後の三重大学を知る良き機会となり有難く思っています。

また、伊藤医学・病院管理部長から「大学病院近況」と題し、三重大学採用後の経歴の説明とともに、最近の病院での出来事、新型コロナウイルス感染症対応に関すること、大学病院が期待されていること等について説明していただき、現状及び今後の三重大学医学部附属病院を知る良き機会となり感謝申し上げます。

また、新入会員3名の方々等から、「近況報告」等の投稿をいただきました。

投稿いただきました皆様には、ご協力感謝申し上げます。

また、今年のコロナ感染者は若干減じましたが、安心できる状況でないことを考慮し、苦渋の思いで「秋の親睦行事」を中止としました。このため会員間の会話の機会が途絶え、情報交換ができないので、会員の方々に情報提供の一端として「近況等気ままな思い」を記して頂きました。

これらに投稿して下さったの方々に対し、心中より有難く感謝申し上げます。

会報発行は、例年通り役員一同の「手作り」で、写真のすべてをカラー版としました。今後の投稿記事につきまして、幅広く会員の皆様からいただきたいと思っておりますので、その節にはご協力のほどよろしく申し上げます。

最後に、会員の皆様方の益々のご健康をお祈りいたします。

(編集者一同)